土質ボーリング柱状図（標準貫入試験）

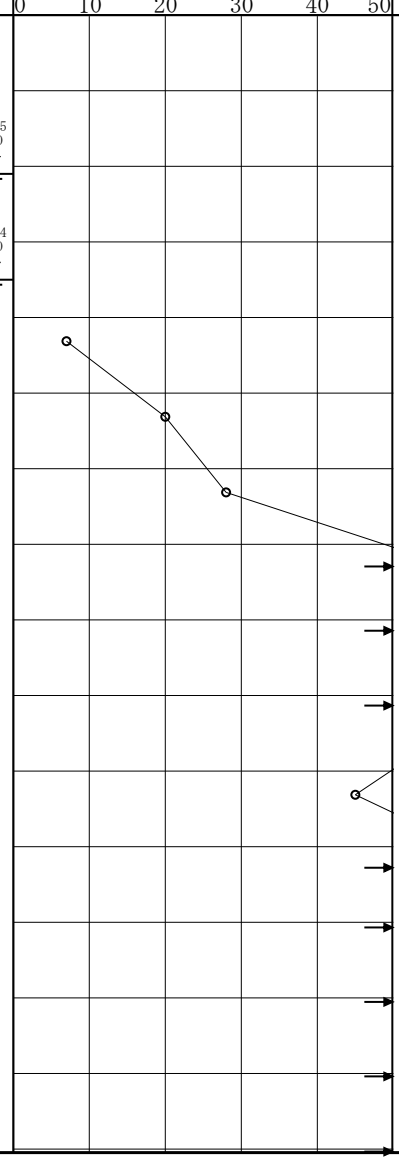
調　査　名　二級河川　三津大川水系　三津大川　災害復旧事業に伴う業務委託

事業名 または 工事名　二級河川　三津大川水系　三津大川

調査目的及び調査対象　道路 橋梁・高架

ボーリング名	No.3	**調査位置**	広島県東広島市安芸津町三津			**北緯**	34° 19′ 11.1519″
発注機関	広島県西部建設事務所東広島支所			**調査期間**	2021年 8月 2日 ～ 2021年 8月 7日	**東経**	132° 48′ 59.8511″
調査業者名	株式会社セトウチ **電話** 0846-29-1720	**主任技師**	藤原　泰介 地質調査技士 登録番号: 第14525号	**現場代理人**	新長　修二 地質調査技士 登録番号:	**コア鑑定者**	藤原　泰介 地質調査技士 登録番号: 第14525号
ボーリング責任者	山本　将人 地質調査技士 登録番号:						
孔口標高	T.P. 5.17m	**角度**	180°　上 90° 下 0°　0°	**方位**	北 0°　270° 西　90° 東　180° 南	**地盤勾配**	水平0°　鉛直 90°
使用機種	**試錐機**	YBM-1WA					
総削孔長	15.00m	**エンジン**	ヤンマーTR120M	**ポンプ**	YBM GP-5		

標尺 (m)	標高 (m)	深度 (m)	現場土質名（模様）	現場土質名	地盤材料の工学的分類	色調	相対密度	相対稠度	地質時代名	記事	孔内水位／測定月日
1.57		3.60		埋土		暗灰～黄褐灰	rd2		完新世	深度0.5m付近まで砕石で、以深は礫混り砂。 深度1.6m付近よりφ20～70cmの玉石混り砂。 ボーリング地点は深度1.95mまで空洞(VP管保孔)、以深、今回埋戻しの砕石。 深度2.5～2.6mはCoガラ混入する。 深度2.6m～3.5mは岩片～L=100mmまでの礫が混入する。 全逸水。	08/05 2.10 08/04 3.50
-1.33		6.50		砂礫		暗灰～灰褐	緩い～中ぐらい			礫はφ50mmまでの亜円礫主体。 砂は細砂主体。 深度5.00mまで掘削時、全逸水する。 深度5.8m付近にt=5cmで暗灰色の有機質土を挟む。	
-6.13		11.30		玉石混り砂礫		褐～青灰	密～非常に密な		更新世	深度8mまでφ150mm程度までの玉石が50%程度占め、玉石間は粗砂主体。 深度8～10m間は、Φ80mm～200mm程度の玉石が80%程度以上占め、玉石間は細～中砂、細礫が埋める。 玉石は硬質な流紋岩主体で、花崗斑岩も混入する。 深度10m以深はやや砂分優位となる。	
-9.83		15.00		砂岩・礫岩		褐灰～暗青			漸新世	岩片～L=300mm程度の棒状コアで採取される。 棒状コアのものは、コア肌は荒く、ハンマーの軽打では濁音を発する。 深度12m～14m間は、岩片状～礫状コア主体となる。	



標準貫入試験 N値	深度 (m)	100mごとの打撃回数 0～100	100～200	200～300	打撃ごとの貫入量	50回の貫入量	自沈時の貫入量	試料採取 深度 (m)	試料番号	採取方法	原位置試験	室内試験	削孔月日
7	4.15	2	2	3	7/300								
20	5.15	6	7	7	20/300								8/3
28	6.15	9	9	10	28/300								
58	7.15	20	18	12/60	50/260	260							
58	8.00	18	18	14/60	50/260	260							8/4
63	9.00	20	19	11/40	50/240	240							
45	10.15	15	14	16	45/300								
65	11.15	11	17	22/30	50/230	230							8/5
136	12.00	41	9/10		50/110	110							
188	13.00	50/80			50/80	80							
300	14.00	50/50			50/50	50							
375	15.00	50/40			50/40	40							8/6

4.45　5.45　6.45　7.41　8.26　9.24　10.45　11.38　12.11　13.08　14.05　15.04